OKAYAMA PREFECTURAL LIFELONG LEARNING CENTER

平成24年度 要覧

三学ぱる岡山

岡山県生涯学習センター

三学ぱる岡山

こもも

生涯学習とは、生活の向上、職業能力の向上や自己の充実を目指し、家庭、学校、地域社会、職場等のさまざまな場で生涯にわたって習い学ぶことです。

江戸時代の儒学者、佐藤一斎の著した『言志晩録』の中に「少にして学べば、即ち壮にして為すこと有り。壮にして学べば、即ち老いて衰えず。老いて学べば、即ち死して朽ちず。」という言葉があり、生涯にわたって学習の大切さを説いています。このことは生涯学習が目指すものであることから、生涯学習センター・烏城高等学校・児童会館（平成23年3月閉館）の一帯に県民の「少・壮・老」の三世代が仲間（ぱる）として集い、楽しく学習や交流ができる親しみやすい生涯学習ゾーンとなるよう「三学ぱる岡山」の愛称が付けられました。

この「三学ぱる岡山」では、好奇心旺盛な「ぱる子」と岡山の「桃・桃太郎」にちなんで名付けられた物知りカラス「こもも」のキャラクターが、広報紙などで生涯学習の御案内をしています。

ぱる子

岡山県生涯学習センター

●岡山県生涯学習センターロゴについて

学びにより生き生きと輝く「生」を送る人を表現しています。

周辺部は明るい太陽の輝きをイメージし、中心部には生涯学習の「生」の字をデザイン化しています。中心部は人に見えると同時に、太陽の光を受けて咲く植物にも見えます。

Contents

1　運営の基本方針 …… 1

2　概　　要

1　組　　織 …… 1
2　沿　　革 …… 2
3　建設概要 …… 3
4　施設概要 …… 3
5　施設配置図 …… 4

3　平成24年度事業体系 …… 6

4　平成24年度事業計画

1　指導者の養成と研修 …… 7
2　学習相談・情報提供 …… 7
3　学習講座等の開設 …… 8
4　交　　流 …… 8
5　調査・研究 …… 8
6　施設・設備の提供 …… 8
7　未来科学棟の整備 …… 9

5　平成23年度事業実績

1　指導者の養成と研修 …… 9
2　学習相談・情報提供 …… 13
3　学習講座等の開設 …… 13
4　交　　流 …… 14
5　調査・研究 …… 14
6　施設・設備の提供 …… 14
7　施設設備の利用状況（件数）…… 14
8　生涯学習情報提供システム情報（ぱるネット岡山）…… 15
9　学習相談件数 …… 15
10　ＡＶコーナー …… 15
11　視聴覚教材コーナー …… 15
12　図書・ブラウジングコーナー …… 15

6　関係条例及び規則

岡山県生涯学習センター条例 …… 16
岡山県生涯学習センター条例施行規則 …… 17
岡山県生涯学習センター条例（別表）…… 18

利用案内（裏表紙）

1 運営の基本方針

岡山県生涯学習センターは、県民が生涯にわたって行う学習活動を支援するために平成９年１月に設置された教育機関である。平成22年２月に策定された第３次岡山県生涯学習推進基本計画を踏まえ、市町村や関係職員・団体等との連携を図りながら、今年度は、次の事項を組織目標として運営する。

また、生涯学習センター、烏城高等学校等が連携し、児童から高齢者まで「少・壮・老」の三世代の県民が、仲間（ぱる）として、楽しく学習や交流ができるゾーン（「三学ぱる岡山」）づくりを目指す。

さらに、未来科学棟（仮称）の平成25年度供用開始に向けて施設整備や気運の醸成等を進める。

1 生涯学習指導者の養成・研修

生涯学習推進の中核となる県・市町村の関係職員や生涯学習指導者の養成・研修を実施し、その資質の向上と指導力の充実に努める。

2 生涯学習情報提供・学習相談

県民の生涯にわたる学習活動を支援するため、広く県内外の学習情報・資料の収集整理に努めるとともに、生涯学習情報提供システム「ぱるネット岡山」の充実を図り、情報提供や学習相談の充実に努める。

3 学習講座の開設

県民に広く学習機会を提供し、生きがいづくり・能力開発に役立てるとともに、学習を通じて地域社会づくりに貢献できるよう講座の充実に努める。

4 学習者・団体相互の交流・連携

多様な分野や各年齢層の仲間が集い、活動成果の発表などの交流を通して、学習意欲を高める。

5 調査・研究

県民意識調査等を通じて県民の学習ニーズを把握し、学習プログラムの研究・開発を行う。また、学習意欲を高めるため、学習成果の評価とその活用方法の検討を行う。

6 施設・設備の利用促進

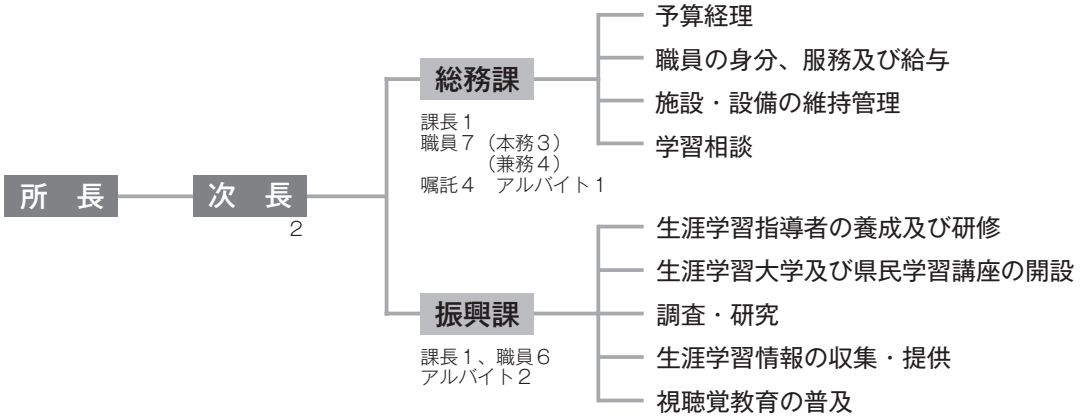
生涯学習推進の拠点施設として、県民の自主的・主体的学習の場として、施設・設備を提供し、生涯学習活動を支援する。

7 未来科学棟（仮称）の整備等

未来科学棟（仮称）の開館に向けて、施設設備や利用者の受入体制の整備を進めるとともに、関係機関等との連携を密にしながら、供用開始後の円滑な運営に向けた準備を行う。

2 概　　要

1 組　　織



2 沿　　革

平成２年１月　中央教育審議会が文部大臣に対し「生涯学習の基盤整備について」を答申。
この中で、地域の生涯学習を推進するための中心機関となる「生涯学習推進センター」について、都道府県が設置することが適当である旨を答申

平成３年４月　第４次岡山県総合福祉計画の中で、学習情報の提供、学習相談、指導者の養成等を行う生涯学習推進センターの必要性及び単位制高等学校の整備を進めることが述べられた。

平成４年３月　岡山県生涯学習推進会議が、「岡山県における生涯学習推進の基本的な考え方」についての意見具申の中で、県の生涯学習推進の中核施設である「生涯学習推進センター」の早急な整備を求めた。

平成５年３月　岡山県立短期大学跡地に、生涯学習推進センター（仮称）と単位制に改編する県立烏城高等学校を一体的に整備する「生涯学習推進センター（仮称）整備基本構想」策定

平成６年３月　「岡山県立短期大学跡地整備基本計画」策定

12月　「岡山県立烏城高等学校・生涯学習推進センター（仮称）基本設計」完了

平成７年３月　「岡山県立烏城高等学校・生涯学習推進センター（仮称）実施設計」完了

11月　建設工事着工

平成８年12月　岡山県生涯学習センター竣工

12月　12月議会において「岡山県生涯学習センター設置条例」制定

平成９年１月　同条例施行、機関設置

２月　岡山県生涯学習センターオープン記念式

２月　岡山県生涯学習情報提供システム「ぱるネット岡山」稼働

５月　岡山県生涯学習大学「のびのびキャンパス岡山」開設

平成10年２月　「県立烏城高等学校･県生涯学習センターの一体的運営に関する委員会」発足

10月　岡山県生涯学習情報提供システム「ぱるネット岡山」が岡山情報ハイウエイに接続され、インターネット上で情報提供開始

平成12年６月　岡山県公民館連合会事務局を県教育庁生涯学習課から移管

平成12年度　文部省委嘱事業「生涯学習ボランティア推進フォーラム」,「キャリア開発学習情報提供推進事業」実施

11月　岡山県生涯学習推進中核施設連絡協議会を設立

平成13年３月　国庫補助「情報技術学習環境整備事業」により第２パソコン教室を整備

平成14年２月　岡山県生涯学習センター開所５周年記念事業を実施

３月　岡山県生涯学習情報提供システム「ぱるネット岡山」を更新

４月　「おかやま長寿学園」を「岡山県生涯学習大学」に統合

６月　岡山県公民館連合会発足50周年に伴う記念事業を実施

７月　岡山県体験活動ボランティア活動支援センターを設置

平成15年９月　第26回中国・四国地区公民館研究集会（岡山大会）を開催

平成17年４月　生涯学習・社会教育担当者向けの研修をリニューアル

平成18年３月　岡山県生涯学習推進施設中核施設連絡協議会を解散

11月　「まなびピア岡山2007」プレフェスティバルを開所10周年記念事業と兼ねて開催

平成19年２月　岡山県生涯学習情報提供システム「ぱるネット岡山」を更新

４月　施設設備の維持管理、業務及び施設等の利用許可業務等一部の業務に指定管理者制度を導入

11月　「まなびピア岡山2007 in 三学ぱる岡山」を開催

平成20年11月　池田動物園､県立児童会館､岡山県生涯学習センターで連携し「京山キッズゾーン」を立ち上げ､「第１回京山祭」を開催

11月　「おかやま学びフェスタ2008」を開催

平成21年４月　情報課を振興課に統合

平成23年３月　県立児童会館閉館

平成23年９月　「岡山県生涯学習センター未来科学棟（仮称）整備基本計画」策定

3 建　設　概　要

敷地面積　45,010㎡
建築面積　6,761㎡
延床面積　12,937㎡
構造規模

交　流　棟／鉄筋コンクリート造２階建
情報・創作棟／鉄筋コンクリート造５階建
講　義　棟／鉄筋コンクリート造５階建
体　育　館／鉄筋コンクリート造２階建
学生食堂／鉄筋コンクリート造平屋建
喫　茶　棟／鉄骨造平屋建
公衆便所／鉄筋コンクリート造平屋建
駐　車　場／鉄骨造（180台）

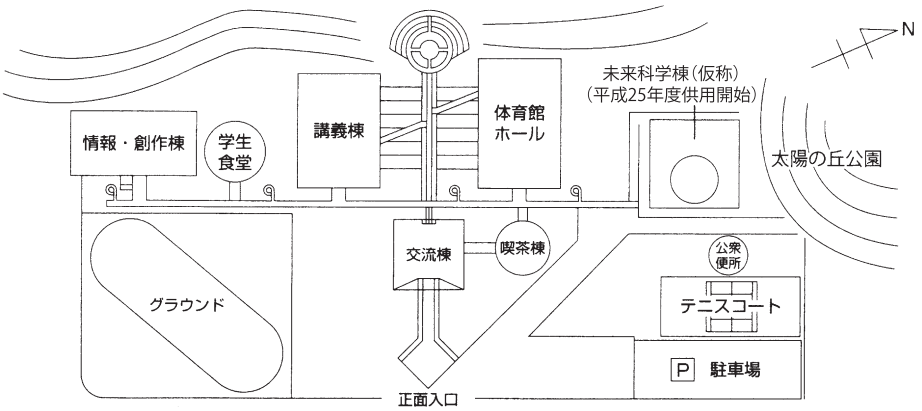
建設工事費　約46億円

4 施　設　概　要

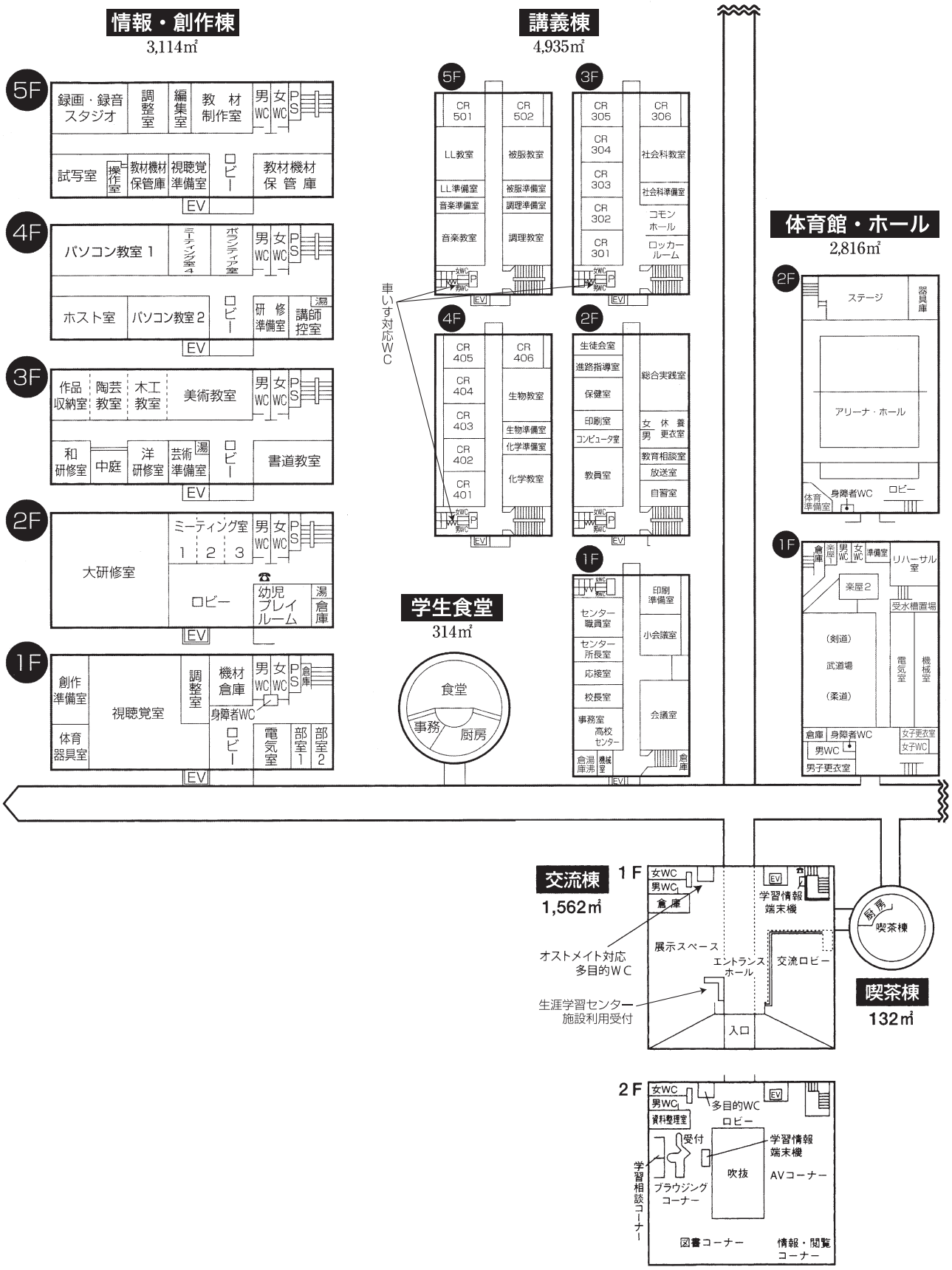
建　物	階別	室　名	面積	定員	主要設備内容
情報・創作棟	１階	視聴覚室	261㎡	72人	ハイビジョン対応のプロジェクター、その他各種映像再生機器
	２階	大研修室	261㎡	150人	液晶プロジェクター、簡易ステージ、プロジェクションテレビ、DVDビデオデッキ、演台、ホワイトボード、スクリーン
		ミーティング室１	28㎡	18人	ホワイトボード
		ミーティング室２	22㎡	12人	ホワイトボード
		ミーティング室３	28㎡	18人	ホワイトボード
		幼児プレイルーム	50㎡	―	幼児用絵本、おもちゃ、ビデオ付テレビ等
	３階	和研修室	33㎡	―	茶道用道具（有料）
		洋研修室	33㎡	12人	―
		陶芸教室	39㎡	24人	作業台、電動ろくろ等陶芸工具
		木工教室	39㎡	8人	卓上糸鋸盤等木工具
		美術教室	80㎡	35人	チャートハンガー、各種画材用具等、プロジェクションテレビ
		書道教室	66㎡	32人	チャートハンガー、プロジェクションテレビ
	４階	パソコン教室１	116㎡	40人	パソコン41台、カラープリンター
		パソコン教室２	66㎡	20人	パソコン21台、スキャナー付プリンター
		ボランティア室	40㎡	18人	ホワイトボード、スクリーン
		ミーティング室４	40㎡	18人	ホワイトボード、スクリーン
		ホスト室	66㎡	―	―
		講師控室	28㎡	―	―
	５階	録画・録音スタジオ	116㎡	―	ベータカムレコーダー等映像機器、デジタルミキサー等音声録音機器、グランドピアノ（有料）
		編集室	21㎡	―	ビデオタイトラー、ビデオエディティングシステム、パソコン、Hi8・VHS・DV編集機等
		教材制作室	58㎡	10人	Hi8簡易編集機、パソコン５台
		試写室	66㎡	18人	プロジェクター、LD・DVDプレーヤー、Hi8・VHSビデオ、16ミリ映写機等
講義棟	１階	校長室	40㎡	―	―
		応接室	40㎡	―	―
		事務室	75㎡	―	（高校事務室、センター総務課）
		所長室	40㎡	―	―
		センター職員室	80㎡	―	（センター振興課）
		会議室	121㎡	63人	―
		小会議室	64㎡	32人	―
		印刷・準備室	64㎡	―	―
	２階	職員室	160㎡	―	―
		コンピュータ室	40㎡	―	―
		印刷室	40㎡	―	―
		保健室	66㎡	―	―

建　物	階別	室　　名	面積	定員	主 要 設 備 内 容
講　義　棟	２階	進　路　指　導　室	54㎡	―	―
		生　徒　会　室	43㎡	―	―
		総　合　実　践　室	163㎡	―	パソコン42台
		休　養　更　衣　室	80㎡	―	―
		教　育　相　談　室	40㎡	―	―
		放　　送　　室	40㎡	―	―
		自　　習　　室	80㎡	―	―
	３階	CR(クラスルーム)×6	64㎡	40人	―
		社　会　科　教　室	120㎡	40人	ホワイトボード
		コ　モ　ン　ホ　ー　ル	80㎡	―	自動販売機、洗面台
		ロ　ッ　カ　ー　ル　ー　ム	80㎡	―	―
	４階	CR(クラスルーム)×6	64㎡	40人	―
		生　物　教　室	120㎡	40人	―
		化　学　教　室	121㎡	40人	―
	５階	CR(クラスルーム)×2	64㎡	40人	―
		Ｌ　Ｌ　教　室	120㎡	40人	LLシステム
		音　楽　教　室	117㎡	40人	グランドピアノ、CD等音響機器
		被　服　教　室	121㎡	40人	―
		調　理　教　室	120㎡	40人	―
交　流　棟	１階	展　示　ス　ペ　ー　ス	200㎡	―	生涯学習センター施設利用受付、展示パネル、展示ケース
		交　流　ロ　ビ　ー	220㎡	80人	プロジェクションテレビ、生涯学習情報提供システム公開端末機
	２階	Ａ　Ｖ　コ　ー　ナ　ー	160㎡	―	AVブース（10ブース）
		情報閲覧コーナー	144㎡	―	―
		学習相談コーナー	80㎡	―	生涯学習情報提供システム公開端末機（２台）
		図書･ブラウジングコーナー	160㎡	―	
体育館・ホール	１階	武　　道　　場	336㎡	―	―
		リ　ハ　ー　サ　ル　室	93㎡	―	―
		楽　　屋　　１	12㎡	―	洗面台、丸椅子、コートハンガー
		楽　　屋　　２	25㎡	―	洗面台、丸椅子、コートハンガー
	２階	ア　リ　ー　ナ	896㎡	500人	可動椅子500席(有料)、各種音響･照明設備、プロジェクションテレビ、OHC
学生食堂	１階		314㎡	220人	烏城高等学校専用
喫　茶　棟	１階		132㎡	64人	（グリルぱる）
グラウンド			7,273㎡	―	夜間照明
テニスコート			1,254㎡	―	オムニコート２面
駐　車　場			1,751㎡	―	普通車180台、大型バス４台

5 施設配置図



生涯学習センター・烏城高等学校施設内配置図



3 平成24年度事業体系

- **生涯学習センター事業**
  - 指導者の養成と研修
    - 行政職員等研修
      - 生涯学習推進基礎講座
      - 生涯学習推進実践講座
      - 社会教育施設職員等研修会
      - 公民館情報ネットワーク事業
      - 教育支援活動コーディネーター等研修会
      - 視聴覚ライブラリー担当者会・研修会
      - 岡山県公民館連合会・研修会
    - 県民指導者研修
      - 生涯学習推進実践講座
      - 教育支援活動コーディネーター等研修会
      - How To ボランティア!!（学生ボランティア養成講座）
        ※烏城高校との単位互換
      - 生涯学習大学主催講座大学院コース（学習指導）
  - 学習相談・情報提供
    - 学習相談
      - 学習相談（相談員の配置）
      - 電話相談
    - 生涯学習情報提供
      - 生涯学習情報提供システムの整備
      - 「ぱるネット岡山」の活用・普及
      - 生涯学習情報の収集・整理
      - ＡＶコーナーの整備・運営
      - 情報・図書資料の収集・整理
      - センターだより（情報誌）等の発行
    - 視聴覚メディア活用学習の推進
      - 視聴覚教材・機材の整備、貸出
      - 視聴覚教材普及・広報活動
      - 16ミリフィルムデジタル化事業
  - 学習講座等の開設
    - 生涯学習大学
      - 実践コース
      - 専門教養コース
      - 大学院コース
      - 連携講座
    - 県民学習講座
      - 遠隔講座（ＶＯＤ等）の開設
      - ぱるシアター
      - 生涯学習ボランティア講座（三学ぱる塾）
  - 交　流
    - 発表、展示、交流
      - 学習発表会
      - 作品交流展
      - 団体の交流
      - 生涯学習「受講生の集い」
  - 調査研究
    - 調査研究
      - 学習需要の調査、研究（県民意識調査）
      - 生涯学習関連事業の調査、研究
      - 学習プログラム・教材等の研究開発
      - 学習成果の評価とその活用方法の検討
  - 施設設備の提供
    - 県民への開放
      - 京山祭（京山キッズ・チャレンジ）
      - ぱるシアター
      - 施設・設備の開放
      - 施設ボランティア活動の促進
    - 生涯学習団体等への貸出
      - 利用の受付
  - 未来科学棟（仮称）の整備
    - 未来科学棟（仮称）の整備
      - 未来科学棟の改修・整備、専門委員会の設置
        人材養成・研修事業、広報事業
  - 岡山県公民館連合会
    - 岡山県公民館連合会・研修会
  - 岡山県視聴覚ライブラリー連絡協議会
    - 視聴覚ライブラリー担当者会・研修会

4 平成24年度事業計画

1 指導者の養成と研修

事業名		主な内容	対象：定員	期間
行政職員等研修	生涯学習推進基礎講座	生涯学習・社会教育行政の推進に必要な基礎的な知識・技能の研修を行い、行政職員や生涯学習推進者としての資質の向上を図る。また、職員間のネットワークづくりを支援する。	生涯学習・社会教育推進担当者で勤務年数が少ない方 基礎的な知識を学びたい方　等 40人	４月 ５月
	生涯学習推進実践講座	現代的な課題に対応し、日常の業務に役立つ実践的な研修を体系的に行うことで、担当者や生涯学習によるまちづくりの指導者としての力量の向上を図る。 （６コースを設けて研修）	生涯学習･社会教育担当者 社会教育施設職員 社会教育指導員 学校教育関係者 生涯学習・社会教育推進の指導者　等 各コース20人	５～12月
	社会教育施設職員等研修会	生涯学習時代における生涯学習・社会教育のあり方について研修し、指導者としての力量の向上を図る。 （生涯学習推進実践講座及び岡山県公民館連合会研修会と兼ねる。）	公民館等の社会教育施設・生涯学習関連施設職員 生涯学習･社会教育担当者 社会教育指導員　等 150人	５～２月
	公民館情報ネットワーク事業	公民館職員などを対象に、ホームページ作成や更新に関する技能研修を行い、情報発信能力の底上げとホームページ運用公民館数を増加させ、公民館の情報ネットワークを構築する。さらに、岡山県生涯学習情報提供システム「ぱるネット岡山」と公民館ホームページをリンクさせ､県内の生涯学習情報ネットワークの構築を行う。	公民館職員、公民館ホームページ作成関係職員、教育委員会生涯学習担当職員、首長部局生涯学習関連課職員、生涯学習センター等の施設職員	9～12月
	視聴覚ライブラリー担当者会･研修会	視聴覚ライブラリーの運営上の諸問題を話し合い、視聴覚教育の一層の向上を目指す。	視聴覚ライブラリー職員	６月
	岡山県公民館連合会研修会	公民館研究者等の講演や公民館における現代的課題についての研修を行い、職員や市町村公民館担当者の資質の向上を図る。また、第35回中国・四国地区公民館研究集会岡山大会を第２回研修会を兼ねて実施する。	公民館職員 市町村教育委員会公民館担当者 1,500人	５月 ９月 12月 １月
県民指導者研修	教育支援活動コーディネーター等研修会	「おかやま子ども応援事業」にかかわる学校支援コーディネーターや放課後子ども教室のコーディネーター、教職員（地域連携担当）等を対象に、学校と地域、家庭の連携を進めるためのスキルアップを図る研修会。	学校支援コーディネーター、生涯学習・社会教育行政職員、社会教育関連施設・学校教育関係者 200人	６月 ７月 ８月 ９月
	How To ボランティア!! （学生ボランティア養成講座）	青少年のキャリア形成、キャリアアップの一環として、ボランティア活動に興味・関心をもつ学生を対象にボランティア養成を行い、地域や学校で活躍するリーダーを養成する。	県内大学生 40人	５月～ 25年１月

2 学習相談・情報提供

事業名		主な内容	対象：定員	期間
学習相談		学習相談員が面談、手紙、電話、ファクシミリ、電子メールで、生涯学習に関する相談に応じる。	県民一般	常　時
生涯学習情報提供	生涯学習情報提供システムの整備	情報提供システムの利用状況、実用性、操作性を調査し、より使いやすいシステムづくりを図る。		常　時
	生涯学習情報の収集・整理	コンピュータネットワークで提供する「講座･講演情報」「講師・ボランティア情報」「団体・グループ情報」等の更新と情報量の増加を図るとともに、分野によっては内容を精選し、広く広報を行う。		常　時
	ＡＶコーナーの整備・運営	10台のビデオ用ブースで、郷土に関する映像や映画、アニメーション等を提供する。	県民一般	常　時
	情報・図書資料の収集・整理	図書、逐次刊行物、新聞等を収集・整理し学習者に提供する。	県民一般	常　時
	センターだより（情報誌）等の発行	センターの事業等を紹介するために、要覧、リーフレット、情報誌等を作成し、関係機関等に配布する。	県民一般 関係機関	要覧　年１回 情報誌年２回 ﾘｰﾌﾚｯﾄ　随時

事　業　名		主　な　内　容	対象：定員	期　間
視聴覚メディア活用学習の促進	視聴覚教材・機材の整備・貸出	視聴覚教材や機材の整備・貸出等を行い、学習活動を支援する。	県内の団体	常　時
	視聴覚教育の普及・広報活動	視聴覚教育の指導者の養成に努めるとともに、16ミリ映写機利用セミナーを開催するなど、一般への視聴覚教育の普及を図る。 視聴覚教材目録を5,000部作成し、視聴覚教材の利用促進を図る。	教材利用団体	随　時
	岡山県視聴覚ライブラリー連絡協議会	県下の視聴覚ライブラリーとの連携を図り、視聴覚教育の推進を図る。	視聴覚ライブラリー職員	随　時
	16ミリフィルムデジタル化事業	郷土岡山を紹介する貴重な16ミリフィルムの映像をデジタル化し、広く県民に公開するとともに、後世に映像資料として伝える。		

3 学習講座等の開設

事　業　名		主　な　内　容	対象：定員	期　間
生涯学習大学		県の特性を生かした講座を開設するとともに、多様な学習講座を体系化し情報提供する。さらに、学習成果を評価することにより社会参加の促進を図る。 **（主催講座）** ○実践コース（１講座） ○専門教養コース（３講座） ○大学院コース（４講座） **（連携講座）** 　他の行政機関及び民間が主催する講座	県民一般 定員30名 定員40名 定員20名 （学習指導定員30名） 県民一般 定員各講座ごと	年　間
県民学習講座	講座の遠隔地配信	ＶＯＤによる講座の遠隔地への配信	県民一般	随　時
	三学ぱる塾	生涯学習センター登録の「ぱるボランティア」及び、岡山県生涯学習大学の修了生が企画・運営する講座を開設する。	県民一般	年　間

4 交流

事　業　名	主　な　内　容	対象：定員	期　間
生涯学習「受講生の集い」	岡山県生涯学習大学の受講生に対し、証書の授与や学習成果発表の場を提供するとともに、著名人の講演を行い、生涯学習を県民にＰＲする。	受講生 県民一般　350人	２月
発表・展示・交流	展示スペース、交流ロビー等を生涯学習の成果の発表の場として提供する。	生涯学習関連団体 県民一般	随　時

5 調査・研究

事　業　名	主　な　内　容	対象：定員	期　間
学習需要の調査・研究	県民意識調査を行うことで、生涯学習に関する意識や希望を把握し、県生涯学習の推進、およびセンター機能の充実のための基礎資料を得る。	県民一般	８月頃

6 施設・設備の提供

事　業　名	主　な　内　容	対象：定員	期　間
施設・設備の提供	県民に生涯学習センターの施設・設備を提供し、生涯学習を支援する。	関係機関 県民一般	常　時
ぱるシアター	視聴覚室等を開放し、子どもや大人が楽しみながら映像に親しむとともに豊かな心と感性を育む場を設ける。	県民一般 各　回　72人	毎　月
京山祭（京山キッズ・チャレンジ）	生涯学習センターの施設の一部を開放し、体験や遊びのコーナーを設け、家族や仲間とのふれあいや交流の場を提供する。	子どもと保護者	６月 11月 ３月
ぱるボランティア	自己実現及び社会参加を目的に、自発的、自主的なボランティアとしての活動を促し、センター運営機能の活性化を図る。	県民一般 60名程度	常　時

7 未来科学棟（仮称）整備に関する事業

事　業　名	主　な　内　容	期　間
未来科学棟（仮称）の改修・整備	整備基本計画に基づき、内装・設備工事を実施し、改修に伴うプラネタリウム等の映像システムの更新整備等を実施する。	年　間
専門委員会の設置	有識者等による専門員会を設置し、プラネタリウムや全天周映像の投影内容や生涯学習プログラムなど、供用開始後に実施する事業について検討する。	年３回
人材養成・研修事業	運営の担い手となる人材育成や科学学習プログラムを研究開発する。 ・サイエンスインストラクター・科学ボランティアの募集 ・子ども科学クラブ・友の会の募集	年　間
広報事業	未来科学棟の事業内容や魅力等を広く県民に認知されるよう広報活動を進める。 ・愛称、マスコットキャラクターの募集 ・広報チラシの作成	年　間

5 平成23年度事業実績

1 指導者の養成と研修

事　業　名	実施期間	内　　容　　等	参加者数
生涯学習推進 基礎講座		生涯学習・社会教育の推進に必要な基本的な知識の理解・技能の研修を行い、行政職員や生涯学習推進者としての資質向上を図った。	
	平成23年４月26日	〈第１回〉 【講義】「基礎から学ぶ生涯学習・社会教育の進め方～入門編～」 広島経済大学経済学部　准教授　志々田まなみ 【実践発表】「深めよう！地域のきずな」 瀬戸内市中央公民館　館長補佐　茂成　詔司 「社会教育施設職員として」 岡山県生涯学習センター　学習相談員　杉山　豊 【意見交流会】「社会教育担当者としてできること」 岡山県生涯学習センター　振興課職員	第１回 66人
	平成23年５月10日	〈第２回〉 【講義・演習】「基礎から学ぶ講座企画キーポイント」 「レッツチャレンジ!　講座企画」 香川大学生涯学習教育研究センター　准教授　山本　珠美	第２回 52人
生涯学習推進 実践講座		現代的な課題に対応し、日常の業務に役立つ実践的な研修を体系的に行うことで、生涯学習によるまちづくりやコーディネーターに必要な担当者の資質向上を図った。	
	平成23年５月18日 ※各コース共通	〈第１回〉※社会教育主事等研修会を兼ねて実施。 【テ ー マ】「地域のネットワークづくりとコーディネート力の向上」 【講義】「学校･家庭･地域の連携による地域教育力向上とそれを進めるコーディネーターの役割」神戸学院大学人文学部　教授　今西幸蔵 【シンポジウム】「子どもたちの育ちを支える地域のネットワークづくり」 （シンポジスト）　坪田譲治子どもの館　代表　福間トキ子 NPO法人元気交流クラブたけのこの家　理事長　澤　健 津山市立東小学校　事務主任　西山由花子 （コーディネーター）　岡山県生涯学習センター振興課長　加賀英範 【意見交換・情報交換】「地域をつなぐコーディネーターとして」	第１回 110人
		〈第２回・第３回〉	
	Ａコース 平成23年６月７日	◆Ａコース「コーディネート力の向上」 【講義・演習】「人と人をつなぐコミュニケーション力の向上」 I.B.P総合研究所　代表取締役所長　本城　稔	Ａコース 16人
	平成23年６月21日	【講義・演習】「人や地域をつなぐコーディネート力の向上」 I.B.P総合研究所　代表取締役所長　本城　稔	19人
	Ｂコース 平成23年７月５日	◆Ｂコース「企画力・広報力の向上」 【講義・演習】「広報・宣伝のポイント」 【ワークショップ】「戦略的な広報誌づくりの演習」 広報誌アドバイザー　芝沼　隆一	Ｂコース 20人
	平成23年７月21日	【講義】「住民を巻き込んだ講座企画のポイント」 【ワークショップ】「地域のよさを生かした企画・立案の方法」 NPO法人岡山NPOセンター　事務局長　石原　達也	23人

事　業　名	実施期間	内　容　等	参加者数
生涯学習推進 実践講座	Ｃコース 平成23年９月８日	◆Ｃコース「地域ぐるみで取り組むまちづくり」 【講義】「災害に強いまちづくりにするために～震災･復興ボランティアの体験を通して～」 【ワークショップ】「わがまちを災害から守ろう！今、自分にできること」 岡山県社会福祉協議会　地域福祉部　主任　石井　慎一	Ｃコース 16人
	平成23年９月30日 【和気会場】	【講義】「協働によるふれあいのまちづくり」 子ども劇場笠岡センター　理事長　宇野　均恵 【実践発表】「和気町の取り組み」 和気町教育委員会社会教育課　課長補佐　野山　昌義	26人
	平成23年11月30日 【鏡野会場】	【講義】「地域の特色を生かした人づくり、まちづくり～地域づくりに必要な人々のつながり～」　かのさと体験観光協会　事務局長　仲田　芳人 【実践発表】「香北公民館の取り組み」 鏡野町立香北公民館　館長　三村　吉子	24人
	Ｄコース 平成23年10月６日	◆Ｄコース「学校・家庭・地域の連携による地域教育力の向上」 【講義】「地域コミュニティの再生と子どもたちの学ぶ意欲の向上」 大阪教育大学　学長　長尾　彰夫 【実践発表】「子どもが安心して過ごせる地域の中の居場所づくり」 津山市教育相談センター鶴山塾　塾長　市村　京子 「中学校区での連携による地域教育力向上に向けた関係づくり」 美咲町立中央中学校学校支援ボランティアコーディネーター　山田　師子 美咲町立美咲中央小学校学校支援ボランティアコーディネーター　野津　貴子 美咲町立加美小学校学校支援ボランティアコーディネーター　岩野由香美	Ｄコース 38人
	平成23年10月12日 【新見会場】	【講義】「地域連携の推進者として求められるもの」 【協議】「地域の教育力を向上させるために」	32人
	平成23年11月17日 【津山会場】	岡山大学大学院教育学研究科　准教授　熊谷愼之輔	34人
	平成23年12月20日 ※各コース共通	〈第４回〉「岡山県生涯学習推進実践交流会」 ※岡山県公民館連合会第３回研修会、社会教育施設職員等研修会を兼ねて実施。 【テーマ】「地域全体による子どもの育ちを支える支援のあり方」 【講演】「人生・出逢い－親の目、子の芽、地域の眼－」 東大阪大学こども学部こども学科　教授　向出　佳司 【第１分科会】「若者の自立支援」 （実践発表）「地域との交流の中で輝く子どもたち」 興譲館高等学校　教諭　森田美和 「今までの若者の自立支援を振り返って見えてきた大切なもの」 NPO法人青少年自立支援リスタート　事務局長　村本　和孝 （コーディネーター） ノートルダム清心女子大学大学院人間生活学研究科　教授　西井　麻美 【第２分科会】「子育て・家庭教育支援の充実」 （実　践　発　表）「子育てで親育ち　子育て事業が地域を結ぶ」 岡山市立妹尾公民館　主任　藤山宙子 「ボランティアってすばらしい」 NPO法人元気ッズ　理事長　須田　正子 （コーディネーター）NPO法人元気交流クラブたけのこの家　理事長　澤　健 【第３分科会】「地域総ぐるみで子どもたちを育む仕組みづくり」 （実　践　発　表）「田辺市における学社融合の取り組みについて」 和歌山県田辺市教育委員会生涯学習課　課長　小川　雅則 和歌山県田辺市中部公民館　主事　榊原　数仁 「思いは一つ、思いを一つに」 勝央町教育委員会　主任　三戸　祥恵 （コーディネーター）　広島経済大学経済学部　准教授　志々田まなみ	第４回 91人
公民館情報ネットワーク事業	平成23年８月19日～平成24年２月21日（６会場11回）	公民館からの情報発信能力を向上させるため、講座企画、情報発信に関する戦略の立て方、チラシ作成の基礎、ホームページ更新などについて研修を行い、ホームページ運用公民館数が増加した。 また、岡山県生涯情報提供システム「ぱるネット岡山」と公民館ホームページがリンクすることにより、県内の生涯学習情報ネットワークの構築を図った。 （内容） 【講義・演習】情報発信の基礎、広報企画の基礎、チラシ作成演習、ホームページ作成・更新の基礎、講座企画の基礎　など 【講師】　１日目　岡山県立大学造形デザイン学科長　教授　嘉数　彰彦 ２日目　コンピューターインストラクター　原田はるえ 【会場】　備前市中央公民館　［８月19日（金）、８月25日（木）］ 総社市山手公民館　［９月16日（金）、10月４日（火）］ 玉野市立中央公民館　［10月14日（金）］ まなび広場にいみ　［11月８日（火）、11月15日（火）］ 瀬戸内市中央公民館　［12月１日（木）、12月２日（金）］ 矢掛町中央公民館　［２月14日（火）、２月21日（火）］	 23人 29人 ６人 20人 17人 17人

事　業　名	実施期間	内　　容　　等	参加者数
学校支援ボランティア・コーディネーター研修会		学校、家庭、地域が一体となって、子どもを育てる体制づくりを推進するために、学校支援コーディネーター等を対象に、コーディネーターとして必要な資質の向上を図るとともに、コーディネーター間のネットワークづくりを行った。また、県総合教育センターとも共催して教職員の参加を進めた。	
	第１回目 平成23年６月２日	第１回 【説明】「岡山県の学校支援の取組について」　県教育庁生涯学習課職員 【講義】「学校・家庭・地域の連携・協働の意義とコーディネーターの役割」 岡山大学大学院教育学研究科　准教授　熊谷愼之輔 【所属別等意見交換会】 【ワークショップ】「コーディネーターＱ＆Ａづくり」 岡山県生涯学習センター職員	75人
	第２回目 平成23年７月28日	第２回 【講義】「学校と地域の効果的な連携を進めるためのポイント」 岡山大学大学院教育学研究科　准教授　熊谷愼之輔 【シンポジウム】「学校と地域の効果的な連携を進めるために」 コーディネーター　岡山大学大学院教育学研究科　准教授　熊谷愼之輔 シンポジスト　赤磐市立赤坂中学校　校 長　平田　俊治 津山市立東小学校　事務主任　西山由花子 美咲町立旭小学校　地域コーディネーター　飯田　純子 矢掛町立山田小学校　学校支援ボランティア　池田ひろみ 【研究協議】「地域全体で子どもたちを育てるために」	168人
	第３回目 平成24年１月31日	第３回 【地区研修会報告】「教育事務所主催コーディネーター地区研修会の報告」 （岡山教育事務所、津山教育事務所） 【実践発表】　①新見市立本郷小学校　教　頭　後藤　秀則 ②勝央町教育委員会　主　事　石原　綾 勝間田小学校支援地域本部　コーディネーター　安東　順子 【説明】「平成24年度の学校支援の方向性」　岡山県教育庁生涯学習課職員 【グループ協議・情報交換】 「学校支援をひろげよう！～地域の子どもを地域全体で育てるために～」	125人
How Toボランティア!! （学生ボランティア養成講座）	平成23年５月29日～平成24年１月22日（年10回）	ボランティア活動に興味・関心をもつ学生を対象に、活動に必要な知識、技術等を習得し、活動を通して学んだものを活かして、それぞれの地域や学校で活躍するリーダーの養成を行った。 ◆第１回　「アイスブレイク」　岡山ＮＰＯセンター 「ボランティア活動の意義」　アドバイザー 岩井　春加・平尾　博美	26人
		◆第２回　「救命救急法を学ぼう！」（ＡＥＤ講習） 岡山市西消防署員	30人
		◆第３回　「ブース企画のHow To!」　ボーイスカウト岡山連盟 「ものづくりのHow To!」　プログラム委員長 横山　卓生 振興課職員	18人
		◆第４回　「レクリエーション指導のHow To!」 レクリエーション協会スポーツ 委員会委員　久保園　明美	17人
		◆第５回【岡山県渋川青年の家宿泊研修】 「リーダーシップについて」　小学館レクリエーション 「フェスティバル企画」　リーダーズクラブ 代表　岩田　勉 青少年教育施設職員	21人
		◆第６回「キッズ・チャレンジ、フェスティバルに向けて準備」 振興課職員	20人
		◆第７回「キッズ・チャレンジに参加」　振興課職員	12人
		◆第８回「フェスティバルに向けて準備」　振興課職員	19人
		◆第９回「How Toボランティア！！フェスティバル」 振興課職員	４人
		◆第10回「活動の振り返り」　振興課職員	16人
		※上記講座の他に、岡山県教育庁生涯学習課が行う、生きる力応援プラン「夢さがしの旅」推進事業へのボランティアスタッフ参加も行った。	

事　業　名	実施期間	内　　容　　等	参加者数
視聴覚ライブラリー担当者会・研修会	平成22年12月８日	◆担当者会 県内の視聴覚ライブラリー担当者が集まり、運営上の諸問題等を話し合い、視聴覚教育の推進に努めた。 ◆研修会 「歴史的価値のある映像資料の保存と活用」 山陽映画株式会社　寺嵜　孝	10人 11人
岡山県公民館連合会研修会		公民館職員、市町村教育委員会公民館担当者を中心に、講演・実践発表を行った。	
	平成23年５月31日	◆第１回 【講義】「公民館がつくり出す地域のきずな」 講師　和歌山大学　生涯学習教育研究センター　准教授　村田　和子	88人
	平成23年９月22日	◆第２回 【実践発表】「公民館と地域住民で進める人づくり、地域社会づくりの取り組み」 倉敷市庄公民館　館長　岡崎　洋典 備前市伊里公民館　館長　小林　建夫 【特別企画ワークショップ】「公民館から進める地域の防災意識づくり」 講師　（財）市民防災研究所　事務局長　細川　顕司	72人
	平成23年12月20日	◆第３回 「岡山県生涯学習推進実践交流会」を兼ねて実施 【テーマ】「地域全体による子どもの育ちを支える支援のあり方」 【講演】「人生・出逢いー親の目、子の芽、地域の眼ー」 東大阪大学こども学部こども学科　教授　向出　佳司 【第１分科会】「若者の自立支援」 【第２分科会】「子育て・家庭教育支援の充実」 【第３分科会】「地域総ぐるみで子どもたちを育む仕組みづくり」	91人
	平成24年３月１日	◆第４回 「“あるある公民館”イニシアティブ事業中間発表会」を兼ねて実施 【「“あるある公民館”イニシアティブ事業」中間発表】 コーディネーター　香川大学 生涯学習教育研究センター　准教授　山本　珠美 発表　瀬戸内市教育委員会社会教育課　主査　若松　挙史 笠岡市東公民館　館長　二階堂昇司 津山市高田公民館　館長　落合　勝之 津山市高田地区地域興実行委員会　会長　兵延　軍治 久米南町教育委員会教育課　課長補佐　畝本　昭則 奈義町教育委員会生涯学習課　主事　寺坂　信也 【講義・ワークショップ】 「子どもの時間を共に生きる～響関者としてかかわろう～」 講師　NPO法人 あそび環境Museum　アフタフ・バーバン 理事長 北島　尚志	55人
デジタルカメラを使った広報研修講座	平成24年１月27日	相手を惹きつける広報、相手にテーマが伝わる写真の撮り方、著作権について 【講義・実習】「伝える写真　～惹きつける広報とは～」 山陽放送株式会社 報道制作局放送ライブラリーセンター副参事　小松原　貢	13人

2 学習相談・情報提供

事　業　名		実施期間	内　　容　　等
学習相談		年　間	学習相談員が面談、手紙、電話、ファクシミリ、電子メールで生涯学習に関する相談に応じた。
生涯学習情報提供	生涯学習情報提供システムの整備	年　間	県内の生涯学習ポータルサイトとして、県内の関係教育機関が、データを入力、活用できるようIDの発行・「利用の仕方」についての研修等を行った。
	生涯学習情報の収集・整理	年　間	コンピュータネットワークで提供する「講座･講演情報」「学習施設情報」「視聴覚教材情報」「講師･ボランティア情報」「子ども向け情報」「子育て支援情報」等12分類の情報収集・整理に努めた。とりわけ、「講師・ボランティア情報」の更新を、県・市町村、大学、各種団体と連携して行った。
	ＡＶコーナーの整備・運営	年　間	10台のＡＶブースで、郷土に関する映像やアニメーション映画等、1,500本の映像を提供した。
	情報・図書資料の収集・整理	年　間	図書、逐次刊行物、新聞等を収集・整理し学習者に提供した。
	催し物案内（情報誌）等の発行	年　間	要覧（1,000部）、情報誌「生涯学習センターだより」（10,000部（７月）、10,000部（１月））、リーフレット等を作成し、関係機関に配付し、センター事業等の紹介をした。
視聴覚メディア活用学習促進	視聴覚教材・機材の整備、貸出	年　間	県内全域にわたる社会教育団体・学校等に対し、視聴覚教材・機材等の貸出をした。また、ＤＶＤ44作品を購入・整備し、視聴覚教材の整備に努めた。
	視聴覚教育の普及事業	年　間	16ミリ映写機利用セミナーやデジタルカメラを使った広報・撮影講座を開催するなど、地域視聴覚ライブラリーや一般への視聴覚教育の普及に努めた。
	視職覚教材広報活動	年　間	視聴覚教材目録を5,000部作成し社会教育団体･学校等へ配付した。また、「岡山県教育時報」や「生涯学習センターだより」等で教材の紹介を行った。
	岡山県視聴覚ライブラリー連絡協議会	年　間	県下14視聴覚ライブラリーとの連携を図り、視聴覚教育の推進に努めた。

3 学習講座等の開設

事　業　名		実施期間	内　　容　　等	参加者数
生涯学習大学		年　間	県の特性を生かした講座を行うとともに、他の行政機関や民間が行う多様な学習講座を体系化し、学習機会を提供した。 ＜主催講座＞ ○実践コース（１講座） 子どもに関わるボランティア養成講座、晴れボラ・デビュー２０１１ ○専門教養コース（３講座） 大人のための楽しい科学実験・自然観察 誰もが安心して暮らせる社会をめざして 「脱ネイティブ化」する英語：その実態と可能性 ○大学院コース（５講座） 高梁発！地域に学び地域を活かす 健康で文化的な生活をめざして 私たちのくらしと国際社会 岡山の誇り再発見 情報デザイナー養成講座 ＜連携講座＞ 行政機関及び民間等が主催する講座を連携講座として協力いただいた。 連携機関98機関、講座数５７９講座	 42人 19人 22人 11人 30人 8人 51人 37人 21人
県民学習講座	ぱるシアター「特別上映会」	平成23年８月７日	映画上映「アルプスの少女ハイジ」「銀河鉄道９９９」 「遙かなる甲子園」	54人 105人
		平成23年11月13日	映画上映「古都」	86人

4 交　　流

事　業　名	実施期間	内　　容　　等	参加者数
京山祭(京山キッズ・チャレンジ)	平成23年７月３日 平成23年12月18日 平成24年３月３日 平成23年５月１日 平成23年11月13日	隣接する太陽の丘公園、池田動物園と共同で、子ども向けのイベントを行った。 (参加者数は、生涯学習センターでの参加者) センター主催で「京山キッズ・チャレンジ」の名称で子ども向けイベントを行った。	540人 2,000人 500人
生涯学習「受講生の集い」	平成24年２月19日	生涯学習大学単位認定証書、のびキャン博士称号授与書、奨励証、修了証書の授与、体験発表。 記念講演　「宇宙・人・夢をつなぐ」 宇宙飛行士　山崎　直子	747人
発表・展示・交流	年　　間	展示スペースを34団体に提供した。	

5 調査・研究

事　業　名	実施期間	内　　容　　等
社会教育施設等に関する調査	随　　時	県生涯学習の推進、およびセンター機能の充実のための基礎資料を得るために、生涯学習に関する県民意識調査の内容と実施方法を検討した。

6 施設・設備の提供

事　業　名	実施期間	内　　容　　等	参加者数
施設・設備の提供	年　　間	県民に生涯学習センターの施設・設備を開放したり、貸し出しをした。	
ぱるシアター「子ども映画会」	平成23年4月16日～平成24年3月17日（年12回）	「まんが日本昔ばなし」「楽しいムーミン一家」「トムとジェリー」などの子ども向けアニメーション作品を中心に上映した。	延912人

7 施設設備の利用状況（件数）

（平成23年４月１日～平成24年３月31日）

施設設備名	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10月	11月	12月	１月	２月	３月	計
視聴覚室	14	16	12	16	12	8	17	16	7	12	15	13	158
大研修室	19	22	25	29	22	20	28	22	20	16	27	21	271
洋研修室	12	14	21	14	15	12	13	11	12	14	13	15	166
和研修室	10	9	17	15	11	8	8	13	12	10	8	9	130
ミーティング室１	28	26	27	35	24	26	36	28	28	28	30	30	346
ミーティング室２	22	29	24	29	28	25	30	28	29	23	24	29	320
ミーティング室３	26	25	29	25	25	25	30	23	27	22	24	25	306
ミーティング室４	24	20	28	25	22	22	24	26	19	18	22	22	272
美術教室	10	12	15	20	15	17	10	13	13	15	13	13	166
木工教室	4	3	3	3	5	4	3	2	1	2	2	4	36
陶芸教室	12	11	14	14	13	11	11	13	9	7	10	10	135
書道教室	14	15	29	28	27	20	21	16	21	18	11	23	243
パソコン教室１	2	9	17	14	11	7	10	12	11	0	12	5	110
パソコン教室２	1	6	16	8	8	8	8	7	0	13	10	7	92
ボランティア室	28	27	24	27	18	23	24	24	20	18	28	19	280
録画録音スタジオ	4	2	2	3	4	1	3	4	1	1	3	1	29
教材制作室	0	0	2	1	5	0	0	0	2	1	0	0	11
試写室	14	14	19	20	18	16	18	17	13	13	17	15	194
編集室	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	3
交流棟展示スペース(日)	13	20	11	18	8	13	22	19	15	21	21	15	196

（件数）

8 生涯学習情報提供システム（ぱるネット岡山）

（ア）データ保有数　（平成24年３月31日現在）

種　類	件　数	種　類	件　数	種　類	件　数	種　類	件　数
講座・講演	66,476	団体・グループ	2,934	講師・ボランティア	1,369	視聴覚教材	5,982
施設・文化財	3,960	資　　格	1,011	学習相談窓口	122	学習プログラム	965
学習相談事例	98	合　　計					82,917

（イ）利用状況　（平成23年４月１日～平成24年３月31日）

種　類	件　数	種　類	件　数	種　類	件　数	種　類	件　数
講座・講演	25,805	団体・グループ	1,333	講師・ボランティア	5,920	視聴覚教材	5,192
施設・文化財	3,955	資　　格	1,106	学習相談窓口	191	学習プログラム	1,450
学習相談事例	190	合　　計					45,142

9 学習相談件数

（平成23年４月１日～平成24年３月31日）

種　類	件　数	種　類	件　数	種　類	件　数	合　計
講座	47	施設・設備	1,057	資格取得	2	1,154
講師	43	その他	5			

10 ＡＶコーナー

（ア）ソフト保有本数（ＬＤ・ＤＶＤ）　（平成24年３月31日現在）

種　類	本　数	種　類	本　数	種　類	本　数	合　計
郷土に輝く人々　市町村紹介ビデオ	56	アニメ	329	洋画	382	1,500
邦画	215	音楽	58	その他	460	

（イ）利用状況　（平成23年４月１日～平成24年３月31日）

種　別	ＬＤ教材	ＤＶＤ教材	ＣＤ・ビデオ	合　計
回　数	2,537	3,710	52	6,299

11 視聴覚教材コーナー

（ア）保有本数　（平成24年３月31日現在）

16ミリ映画	ビデオ教材	ＤＶＤ教材	合　計
2,297	3,263	680	6,240

（イ）貸出状況　（平成23年４月１日～平成24年３月31日）

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
利用本数（本）	ＤＶＤ教材	39	63	118	87	85	46	97	55	80	80	58	28	836
	ＶＨＳ教材	45	56	88	61	58	79	77	82	63	61	82	10	762
	16ミリ映画	0	0	1	3	19	0	2	4	3	2	9	7	50
	計	84	119	207	151	162	125	176	141	146	143	149	45	1,648
閲覧者数（人）	ＤＶＤ教材	8,041	12,456	11,866	8,594	8,691	4,901	16,160	7,930	8,750	9,510	8,920	2,661	10,8480
	ＶＨＳ教材	6,930	5,798	11,575	4,185	4,368	4,585	8,002	9,417	5,816	7,086	11,113	848	79,723
	16ミリ映画	0	0	84	220	5,643	0	132	218	120	82	144	360	7,003
	計	14,971	18,254	23,525	12,999	18,702	9,486	24,294	17,565	14,686	16,678	20,177	3,869	195,206

12 図書・ブラウジングコーナー

図書所蔵冊数　（平成24年３月31日現在）

区　分	冊　数	区　分	冊　数	区　分	冊　数	区　分	冊　数
一般図書	20,000	生涯学習関連資料	7,050	購入雑誌	22ﾀｲﾄﾙ	購入新聞	8紙
(うち烏城高等学校図書)	8,000						

6 関係条例及び規則

岡山県生涯学習センター条例

〔平成８年12月24日
岡山県条例第39号〕

（目的及び設置）
第１条　県民の生涯にわたる学習活動（次条において「生涯学習」という。）の振興を図るため、岡山県生涯学習センター（以下「センター」という。）を岡山市に設置する。
（業　　務）
第２条　センターは、前条の目的を達成するため、次の業務を行う。
（１）生涯学習指導者の養成及び生涯学習関係者の研修
（２）生涯学習に関する情報の収集及び提供並びに生涯学習相談
（３）生涯学習に関する講座の開設
（４）生涯学習に関する調査及び研究
（５）センターの施設及び設備（以下「施設等」という。）の提供
（６）前各号に掲げるもののほか、センターの目的の達成に必要な業務
（開所時間及び休所日）
第３条　センターの開所時間及び休所日は、教育委員会規則で定める。
（指定管理者による管理）
第４条　センター（教育委員会が別に定める区域を除く。第10条を除き、以下同じ。）の管理に関する業務のうち次条に規定する業務は、第13条第１項の規定により岡山県教育委員会（以下「教育委員会」という。）が指定するもの（以下「指定管理者」という。）に行わせるものとする。
（指定管理者が行う業務）
第５条　指定管理者は、次に掲げる業務を行うものとする。
（１）施設等（教育委員会が別に定める区域に存するものを除く。以下同じ。）の維持管理に関すること。
（２）施設等の利用の許可に関すること。
（３）施設等の提供に関すること。
（４）前３号に掲げるもののほか、センターの運営に関し教育委員会が必要と認める業務
（利用の許可）
第６条　別表に掲げる施設等を利用しようとする者は、教育委員会規則で定めるところにより、指定管理者の許可を受けなければならない。許可を受けた事項を変更しようとするときも、同様とする。
２　指定管理者は、センターの管理上必要な範囲内で前項の許可に条件を付することができる。
（入所の制限等）
第７条　指定管理者は、次の各号のいずれかに該当する者に対して、センターへの入所を拒否し、又はセンターからの退去を命ずることができる。
（１）公共の秩序を乱し、又は善良の風俗を害するおそれがある者
（２）施設等を損傷するおそれがある者
（３）施設等の利用が、集団的に又は常習的に暴力的不法行為等を行うことを助長するおそれがある団体の利益になると認める者
（４）その他センターの管理上支障があると認める者
（許可の取消し等）
第８条　指定管理者は、次の各号のいずれかに該当する者に対して、第６条第１項の許可を取り消し、若しくはその条件を変更し、又は行為の中止、原状回復若しくはセンターからの退去を命ずることができる。
（１）この条例若しくはこの条例に基づく教育委員会規則又はこれらの規定に基づく処分に違反している者
（２）偽りその他不正な手段により第６条第１項の許可を受けた者
（３）第６条第２項の条件に違反している者
２　指定管理者は、施設等に関する工事のためその他公益上やむを得ない必要が生じたときは、第６条第１項の許可を受けた者（次条において「利用者」という。）に対して、同項の許可を取り消し、又はその条件を変更することができる。
（利用料金）
第９条　別表に掲げる施設等の利用に係る料金（以下この条において「利用料金」という。）は、指定管理者にその収入として収受させる。
２　利用料金は、別表に掲げる基準額に0.5を乗じて得た額から当該基準額に1.5を乗じて得た額までの範囲内の額で指定管理者が知事の承認を受けて定める額とする。
３　利用者は、指定管理者に利用料金を前納しなければならない。ただし、指定管理者が別に納期を定めたときは、この限りでない。
４　指定管理者は、特に必要があると認めるときは、あらかじめ知事の承認を受け、利用料金を減免することができる。
５　納付した利用料金は、返還しない。ただし、利用者の責めに帰することができない理由により許可を受けた施設等を利用することができなくなったときその他指定管理者が相当の理由があると認めるときは、この限りでない。
（職　　員）
第10条　センターに、所長その他必要な職員を置く。
（指定管理者の公募）
第11条　教育委員会は、指定管理者の指定をしようとするときは、教育委員会規則で定めるところにより、当該指定を受けようとするものを公募するものとする。ただし、特別の理由がある場合は、この限りでない。
（指定管理者の指定の申請）
第12条　指定管理者の指定を受けようとするものは、センターの管理に係る事業計画書その他教育委員会規則で定める書類を添えて、教育委員会に申請しなければならない。
（指定管理者の指定）
第13条　教育委員会は、次の各号のいずれにも該当するもののうちから最も適当と認めるものを指定管理者として指定するものとする。
（１）事業計画の内容が住民の平等な利用を確保することができるものであること。
（２）事業計画の内容がセンターの機能を最大限に発揮させるとともに、その管理に係る経費の縮減が図られるものであること。
（３）事業計画に沿った管理を安定して行うことができるものであること。
（４）その他センターの業務を効果的に行うため教育委員会が必要と認める基準に適合するものであること。
２　教育委員会は、前項の規定による指定をしたときは、その旨を告示するものとする。
（事業報告書の提出）
第14条　指定管理者は、教育委員会規則で定めるところにより、事業報告書を作成し、教育委員会に提出しなければならない。

（業務報告等）
第15条　教育委員会は、センターの管理の適正を期するため、指定管理者に対して、当該管理の業務又は経理の状況に関し報告を求め、実地について調査し、又は必要な指示をすることができる。
（指定の取消し等）
第16条　教育委員会は、指定管理者が前条の指示に従わないときその他当該指定管理者による管理を継続することが適当でないと認めるときは、その指定を取り消し、又は期間を定めて管理の業務の全部若しくは一部の停止を命ずることができる。
２　教育委員会は、前項の規定による指定の取消しをしたときは、その旨を告示するものとする。
（教育委員会規則への委任）
第17条　この条例の施行に関し必要な事項は、教育委員会規則で定める。
附　則
この条例は、平成９年１月１日から施行する。
附　則（平成18年条例第61号）抄
（中略）
附　則（平成22年条例第９号）抄
この条例は、平成23年４月１日から施行する。

岡山県生涯学習センター条例施行規則

（平成８年12月24日
岡山県教育委員会規則第19号）

（趣　　旨）
第１条　この規則は、岡山県生涯学習センター条例（平成８年岡山県条例第39号。以下「条例」という。）の施行に関し必要な事項を定めるものとする。
（開　所　時　間）
第２条 岡山県生涯学習センター（以下「センター」という。）の開所時間は、次のとおりとする。

区　　分		開所時間
条例第４条の教育委員会が別に定める区域（以下「別に定める区域」という。）		午前９時から午後５時まで
その他の区域	火曜日から土曜日まで	午前９時から午後９時まで
	日曜日及び国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する休日（次条第１項第１号及び第２号において「休日」という。）に当たる月曜日	午前９時から午後５時まで

２　前項の規定にかかわらず、岡山県教育委員会（以下「教育委員会」という。）は、必要があると認めるときは、開所時間を臨時に変更することができる。この場合においては、あらかじめその旨をセンターの掲示板に公示するものとする。
（休　所　日）
第３条　センターの休所日は、次のとおりとする。ただし、別に定める区域については、第２号の規定を適用しない。
（１）月曜日（その日が休日に当たるときは、その翌日）
（２）休日（その日が月曜日に当たる場合を除く。）
（３）12月28日から翌年の１月４日まで
２　前項の規定にかかわらず、教育委員会は、必要があると認めるときは、休所日に開所し、又は臨時に休所日を定めることができる。この場合においては、あらかじめその旨をセンターの掲示板に公示するものとする。
（利用の許可の申請）
第４条　条例第六条第一項の規定により、条例別表に掲げる施設若しくは設備（以下「施設等」という。）の利用の許可又は許可を受けた事項の変更の許可を受けようとする者は、指定管理者が教育委員会の承認を受けて定める申請書を指定管理者に提出しなければならない。
（利用者等の遵守事項）
第５条　条例第六条第一項の許可を受けた者（以下「利用者」という。）は、次に掲げる事項を遵守しなければならない。利用者の行う行事等のために入所する者も、同様とする。
（１）利用の許可を受けた施設以外の施設に立ち入らないこと。
（２）利用の許可を受けた設備以外の設備を利用しないこと。
（３）火災、盗難等の事故の発生予防に留意すること。
（４）教育委員会又は指定管理者の指示に従うこと。
（５）その他教育委員会又は指定管理者が必要と認める事項
（損壊の届出等）
第６条　利用者は、施設等を損壊し、又は滅失したときは、直ちに指定管理者に届け出てその指示に従わなければならない。
（利用の終了の届出）
第７条　利用者は、施設等の利用を終了したときは、速やかに指定管理者に届け出なければならない。
（視聴覚教材等のセンター外への貸し出し）
第８条　視聴覚教材及び視聴覚機材のセンター外への貸出しは、所長が適当と認める団体が、生涯学習の目的のために利用する場合に限り、行うものとする。
２　前項の貸出しを受けようとする団体は、所長が別に定める手続きを経なければならない。
（そ　の　他）
第９条　この規則に定めるもののほか、センターの管理及び運営に関し必要な事項は、教育委員会、所長又は教育委員会の承認を受けて指定管理者が別に定める。
附　則
この規則は、平成９年１月１日から施行する。
（中略）
附　則
この規則は、平成23年４月１日から施行する。

岡山県生涯学習センター条例　別表（第６条、第９条関係）

１　施　　設

区　　分		基　準　額					
		午前９時から正午まで	午後１時から午後５時まで	午後６時から午後９時まで	午前９時から午後５時まで	午後１時から午後９時まで	午前９時から午後９時まで
視聴覚室		5,250円	7,010円	5,250円	13,900円	13,900円	20,900円
大研修室		4,900円	6,540円	4,900円	13,000円	13,000円	19,500円
洋研修室		790円	1,060円	790円	2,140円	2,140円	3,210円
和研修室		570円	760円	570円	1,530円	1,530円	2,320円
ミーティング室１		500円	660円	500円	1,350円	1,350円	2,020円
ミーティング室２		380円	520円	380円	1,040円	1,040円	1,590円
ミーティング室３		500円	660円	500円	1,350円	1,350円	2,020円
ミーティング室４		690円	920円	690円	1,870円	1,870円	2,800円
美術教室		2,730円	3,640円	2,730円	7,310円	7,310円	10,900円
木工教室		900円	1,210円	900円	2,420円	2,420円	3,640円
陶芸教室		750円	990円	750円	2,010円	2,010円	3,050円
書道教室		1,140円	1,520円	1,140円	3,070円	3,070円	4,610円
パソコン教室１		6,910円	9,220円	6,910円	18,400円	18,400円	27,600円
パソコン教室２		2,900円	3,880円	2,900円	7,760円	7,760円	11,600円
ボランティア室		690円	920円	690円	1,870円	1,870円	2,800円
録画・録音スタジオ	録画を目的とする利用	4,350円	5,800円	4,350円	11,500円	11,500円	17,400円
	録音を目的とする利用	2,390円	3,200円	2,390円	6,440円	6,440円	9,670円
教材制作室		1,240円	1,660円	1,240円	3,340円	3,340円	5,030円
試写室		1,320円	1,760円	1,320円	3,540円	3,540円	5,340円
編集室		540円	720円	540円	1,450円	1,450円	2,200円

備考　この表に掲げる時間帯の利用に併せて、正午から午後１時まで又は午後５時から午後６時までの時間帯に利用する場合における利用料金は、午後１時から午後５時までの欄に掲げる額に４分の１を乗じて得た額（その額に10円未満の端数があるときは、その端数金額を10円に切り上げた額）とする。

２　冷暖房設備（１時間につき）

区　　分	基　準　額	
	冷房設備	暖房設備
視聴覚室	620円	520円
大研修室	620円	520円
洋研修室	80円	60円
和研修室	80円	60円
ミーティング室１	70円	50円
ミーティング室２	50円	40円
ミーティング室３	70円	50円
ミーティング室４	90円	80円
美術教室	380円	310円
木工教室	90円	70円
陶芸教室	90円	70円
書道教室	150円	130円
パソコン教室１	270円	220円
パソコン教室２	150円	130円
ボランティア室	90円	80円
録画・録音スタジオ	270円	220円
教材制作室	130円	110円
試写室	150円	130円
編集室	50円	40円

備考　利用時間が１時間未満であるとき又は利用時間に１時間未満の端数があるときは、その利用時間又はその端数時間を１時間として計算する。

冷房期間：６月１日～９月30日

暖房期間：12月１日～３月31日

３　設備金額

区　　分	単　　位	基 準 額
放送設備	１式１時間につき	370円
スポットライト	１式１時間につき	210円
資料提示装置	１台１時間につき	140円
液晶プロジェクター	１台１時間につき	230円
茶道具	１式１時間につき	680円
ピアノ	１台１時間につき	960円
陶芸窯	１台１時間につき	870円

備考　利用時間が１時間未満であるとき又は利用時間に１時間未満の端数があるときは、その利用時間又はその端数時間を１時間として計算する。

利用案内

開所時間

- 平日（火曜日～土曜日）午前９時～午後９時まで
- 日曜日・休日に当たる月曜日／午前９時～午後５時まで

休所日

- 月曜日（月曜日が休日の場合はその翌日）
- 国民の祝日・休日（月曜日を除く）
- １２月２８日から翌年１月４日まで

交通案内

交通案内

- 車利用
  - ＪＲ岡山駅西口から約５分
  - 山陽自動車道岡山ＩＣから約１０分
- バス利用
  - 岡電バス　ＪＲ岡山駅西口から中央病院線京山入口下車徒歩８分（所要時間約１３分）
- 徒歩
  - ＪＲ岡山駅西口から約２５分（約1.7㎞）

岡山県生涯学習センター

〒700-0016　岡山市北区伊島町３丁目１－１　TEL.０８６－２５１－９７５０（代表）　FAX.０８６－２５１－９７５７